

とよなか

(部内資料)

教え子を再び戦場に送るな！ 2015年2月27日発行NO. 535

子ども達の豊かな成長・発達のために皆で力を合わせましょう！

第134回定期大会開く 新しい執行部体制の確立！

選出された2015年度新執行部

- 執行委員長 三浦 隆一 (顧問)
- 副執行委員長 穴谷 隆平 (専ら)
- 書記長 藤田 隆平 (顧問)
- 書記次長 藤田 隆平 (専ら)
- 会計委員 内藤 孝一 (専ら)
- 執行委員 藤田 隆平 (専ら)
- 執行委員 小島 隆平 (専ら)
- 執行委員 藤田 隆平 (専ら)
- 執行委員 西島 隆平 (専ら)
- 執行委員 森田 隆平 (専ら)
- 会計監査

はたらく仲間にとって役に立つ組合を！

2月13日、福祉会館で第134回定期大会を開催。三輪執行委員長がはじめのあいさつで、学校現場であらわれている困難について、子どもの様子と教職員の状況について話をしました。「教育に穴」があいた職場の深刻な実態を分会員が市教委に伝え、人的な配置の応援が目に見えてすすんだことや差額支給・賃金カットストップなど組合の姿・力が

大切になっていると強調しました。廣嶋書記長から当面のとりくみについて提案がされ、組合員の発言交流をおこないました。選挙では、立候補者全員が信任されました。当面のとりくみや暫定予算も承認されました。

「組合員の発言交流より」
○青年教職員
忙しくて、なかなか集まれない。組合に入ってきたことがたくさんあ

る。全国の青年の集まりにも参加して、同じことで悩んでいるとわかる。まわりの青年に伝えたい。

○パパ・ママの会
わが子のケガで、看護休暇をとり学校へ。仕事は目いっぱい雑談する時間もない。子育て中の仲間が集まる機会があり、職場のこと、子育てのこの話ができればと広げた。

○研究指定校問題
文科省の人権教育の研究指定を受けたいと突然提案。最終判断は校長という姿勢。賛成・反対含めて、職員全員が意見を表明した。最終的に校長が「取りやめる」と報告。みんなの意見を率直に出し合うことの大切さ条理をつくって話あうことが大切だと感じた。

○学級経営
長年、すてきな子どもたち保護者に恵まれ学級崩壊になったことがない。

子どもは認められたい。自分のことを見てほしい。子どもたちがチャンスを与えるのが先生である。

○職場づくり
大教済を増やし職場に自転車と電子レンジのプレセントがあつた。職員室で気軽に雑談できる雰囲気づくり、気軽に声をかけるようにしている。

○講師の立場から
他市で講師の時、校長から「組合に入るな」講師は組合に入りたくかつたが、講師の身分の不安定さや講師ということから校長からさまざまなことで口出しがある。今回、組合に入り講師のことについても話ができ、ほっとしている。

○学級経営
長年、すてきな子どもたち保護者に恵まれ学級崩壊になったことがない。

「豊中市にも関係ありあり！」 「大阪都構想」その2

○何のための大阪都？

大阪市をなくし、くらしをこわす。「大阪市廃止・解体」構想です。

「大阪都」は2010年に橋下知事（当時）が言い出した構想です。ねらいは、ずばり次の3つ。
①大阪市も24区もなくす
②権限・財源を「大阪都」
大阪府に吸い上げ、巨大な大型開発に注ぐ。
③一人の指揮官（知事）でやりたい放題できる体

制をつくる

4年前に橋下市長・松井知事が誕生してやってきたことは、選挙公約やぶりの「地下鉄・市バス敬老バス」の有料化、「住吉市民病院」廃止など市民サービスや施設の削減です。

大阪府でも、公務員賃金カットはいまでもなく、住民サービス施策切り捨てる政治（左上 グラフ参照）をすすめてきました。

東京都ならんで大阪都？

「大阪都」構想といいますが、実は法律にも「協定書」にも「大阪都」の文字はありません。住民投票で決まるのは、「大阪市廃止」構想です。

また、大阪府にも関係のあることにもかかわらず、「住民投票」は府民を対象にせず、衛星都市の市長・住民からも「大阪府」を变えるのに「意見を聞きもしないのか」と批判の声が。

問題だらけの「民間公募」区長や校長を採用し、教育への政治介入。議会が異を唱えると「出直し市長選挙」に6億円の無駄遣い。

この「維新政治」をさらに暴走させるのが「大阪都構想」です。

○くらしはどうなる？

市民・府民のくらしを破壊する

大阪都構想は、大阪市がすすめてきた住民サービスをバツサリ削り、市民向け施設を売り払い、その浮いたお金で1兆5000億円以上の大規模開発をすすめるというもの。

思い出しましょう！

関西空港の開港95年。当時、新空港建設、大阪湾岸ベイエリア計画といって大型箱もの開発に莫大なお金を大阪市・府がそれぞれつぎ込みました。WTC、りんくうゲートタワービルなどに象徴されるゼネコン頼みの浪

費開発の大失敗。

大阪府・市がこの間、借金財政といって社会保障・住民サービス切り捨て、公務員賃金カットをしてきたのは、この80、90年代の開発失敗の借金の返済があるからです。

○大阪が 発展する？

リニア・カジノで大阪のゆがみ拡大

維新の会は「大阪都」で大阪が発展するといいます。

しかし、庶民のふとこるや中小企業をあたためるのではありません。万博をやるとかリニアの開業、さらにカジノ誘致などゼネコンがもうかるしくみづくりばかりです。

「カジノ誘致」を大阪都の試金石という橋下市長。大阪の発展をバクチ頼みにしようとしています。すでに世界一のギャンブル大国であり依存症患者も536万人（厚生労働省調査14年8月）といわれています。

■ 不要・不急の新たな鉄道、道路ネットワーク(一部)

路線名	区間	概算事業費
なにわ筋線	新大阪~JR・南海難波	約2500億円
北大阪急行延伸	千里中央~新箕面	約700億円 (箕面市も負担)
西梅田十三新大阪連絡線	西梅田~十三~新大阪	約1350億円
JR東海道支線地下化・新駅 (区画整理事業含む)	阪急中津付近 ~JR福島付近	約952億円
阪神高速淀川左岸線延伸部	新御堂筋~第2京阪	約3000~4000億円

「経済効果」より「マイナス面」が多く、犯罪の温床となり、経済も人間性も壊れます。

○二重行政解消でムダがなくなる？

○「特別区」になれば住民サービスはよくなる？